

安全で住みよい
まちづくり

防災への意識改革

Vol.305

第5分団の健闘を祈る

第63回愛知県消防操法大会(7月28日、稲沢市)に、知多郡5町の代表として阿久比町消防団第5分団(植地区、大古根地区、高岡地区)が「小型ポンプ操法の部」で出場します。第5分団の出場は25年ぶりです。

小型ポンプ操法は消防訓練の一つです。防火水槽から給水し、標的に放水します。ポンプやホースなどの操作の迅速さ、正確さを、競い、各団員の士気、規律、チームワーク、器具愛護などについても審査されます。

出場する選手たちは、大会に向けて1月から練習を開始しました。4月からは、平日の夜に、英比小学校運動場で半田消防署阿久比支署員の指導のもと、連日厳しい練習に汗を流しています。町の代表として出場する選手たちに、皆さんの温かい声援を送ってください。頑張れ第5分団。



指揮者
竹内崇人さん

隊員に号令を出してチーム全体の指揮を取り、標的に向けて放水を行います。はっきりと明瞭とした言葉で指示を出すことが求められます。隊員の士気を高めることも大切な役割です。



1番員
新美貴大さん

ホースを延長して、指揮者の命令を3番員(ポンプ操作員)に伝達し、放水の補助を行います。強靱な脚力と正確な動作が必要とされます。



2番員
山口洸平さん

3番員と協力して防火水槽に吸管を入れ、水利の確保をします。火事現場では崩れそうなものを壊す「とび操作」が必要なため、放水の後にとびを持って構えます。水利確保には3番員と息を合わせることが大切です。



3番員
都築秀斗さん

水利の確保と小型ポンプ操法を行います。指揮者の指示が1番員から伝達されると、放水ができるように水を送ります。ポンプの圧力を調整する技術が必要となります。



吸管補助員
伊藤博之さん

水利の確保をした後、吸管が防火水槽から出ないように押さえる役目を果たします。しっかり押さえなければ、水はホースに伝わらず放水することが出来ません。補助員ですが重要な役割です。

防災行政無線情報は電話でも

防災行政無線が聞き取りにくい場合は、**☎(48)7030**で確認してください。最新のメッセージを聞くことができます。

防災交通課 ☎(48) 1111 (内1210)

